

県内スーパーの野菜担当者に聞いた！有機農産物等の販売状況



- (現状)
- ・数店舗で有機の特設コーナーを設置
 - ・主な品目は
 - 春..新玉ねぎ、新じゃがいも
 - 夏..オクラ、ゴーヤー
 - 秋..トマト、さつまいも、葉野菜
 - ・県産品の品揃えはおおよそ1~2割
 - (今後の展望・課題)
 - ・特設コーナーの拡充や取扱い店舗数の増加
 - ・県産品の販売割合の増加
 - ・有機農産物について消費者へのより一層の周知
- その後、有機農産物等に限らず野菜の販売について、産地直送の取組、消費者のニーズに合わせたバラ化(個包装ではなく、バラ売りの販売手法)

今日は、化学肥料や農薬を使用しない又は使用量を低減した栽培方法で生産された、環境に優しい農産物を身近に感じていただけたように、県内の4量販店の野菜担当者から有機農産物等の販売状況について説明していただきました。野菜担当者からの説明及び意見の概要は次のとおりでした。

沖縄総合事務局では、那覇第2地方合同庁舎2号館1階に「消費者の部屋」を設置するなど、日頃より、消費者の皆様へ農林水産行政をわかりやすくお伝えするとともに、食品の安全・安心に対する理解の促進に取り組んでいます。その取組の一環として、3月15日に消費者Webセミナーを開催しました。

今日は、化学肥料や農薬を使用しない又は使用量を低減した栽培方法で生産された、環境に優しい農産物を身近に感じていただけたように、県内の4量販店の野菜担当者から有機農産物等の販売状況について説明していただきました。野菜担当者からの説明及び意見の概要は次のとおりでした。

お問い合わせ先
農林水産部 消費・安全課
☎ 098-866-11672

内閣府沖縄総合事務局
YouTube



「見える化」等級ラベル（例）
※農水省にて商標出願中



農水省 HP

～農産物の環境負荷低減の「見える化」～

の取組等を説明していただきました。現在、国においては、「みどりの食料システム戦略」に基づき農林水産の施策を進めており、また、今年3月から、同戦略に基づき農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」の本格運用もスタートしています。これは、農業用ハウスでの栽培において重油ボイラーや使用しないなどの「地球温暖化の防止（温室効果ガスの排出削減）」の取組や、冬期も水田に水を張ることで生き物の増加を促すなどの「生物多様性の保全」の取組の状況を星の数（等級ラベル）で表示することで、地球環境に優しい農産物であることを消費者の方に分かりやすくお伝えするものです。

当局としては、消費者の皆様に、環境に優しい農産物を身近に感じていただき、選択の機会を増やしていくために、量販店の方々にもご協力をいただきながら引き続き「有機農産物」や「見える化」マーク等の周知を図ってまいります。

なお、セミナー当日に参加出来なかつた皆様に向けた動画の配信（YouTube）も行っておりますので、是非ご覧ください。



(生協) コープおきなわ



イオン琉球（株）



(株) サンエー



(株) リウボウストア